

(6) 外部の専門家からの助言例

対応が難しい事例に対して、専門家からはどのような助言を得られるでしょうか。

ビデオ撮影や録音の要求 ～A小学校長からの相談～

「半年前からの子供のいじめ対応について、納得がいかない。」と保護者が突然来校しました。しかも「担任を替えろ。」と言うのです。

また、ビデオやICレコーダーを取り出して、「話合いの様子をビデオで撮影したい、録音もさせてもらおう。」と言ってきたのです。

その日は、断ることができずに、撮影も録音もされてしまったのですが、次に来たときは、ビデオ撮影するなら校舎内への立ち入りをお断りしようと考えているのですが、よい方法はないでしょうか。

<助言例>

受け方のパターンは何通りかあります。

第1は、冷静に話せるならとことん話を聴くことです。そして何が問題でどうして欲しいのかを具体的に聴くことです。その一つに「担任を替える」ことを主張することもあるでしょうが、その担任に大きな非がない限り、学校の人事権は校長にあるということをはっきり伝えなければなりません。その場合は、副校長や主幹教諭等の同席の上、複数で話を聴くことをお勧めします。

第2に、冷静に話せない状態なら、まずその場を落ち着かせることが必要です。「できる限りのお力になりますので、とにかく冷静にお話しただけませんか。」「この場では、落ち着いてお話しただけると助かります。」等の言葉をかけ、それでも怒鳴り続ける場合は、こちらは黙って、相手のエネルギーが落ちるのを待ちます。その際もメモを取り続けます。聴き取った事実を確認し、関係者全体で共有しないことには改善はできません。また、なぜそうなっているかの詳細も聞き漏らさないことです。

第3に、録音・撮影は丁寧にお断りしましょう。それでも撮影等を主張される場合には、「なぜ録音・撮影が必要だとお考えなのですか？」などと、保護者に率直に尋ねてみてはいかがでしょうか。そこから、さらに保護者の背景や心情が見えてくるかもしれません。

撮影された側には肖像権がありますので、「その映像を断りなく他に公開すると法的責任を生じさせることがあります。」と、相手に伝えておくことも考えられます。